

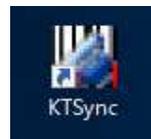
【データコレクターKDC300 接続初期設定 (USB)】

(KDC. User_ Manual. Japanese. 3. 06. A3. pdf より抜粋)

※以下は全てWindows PCでの操作を示しています。現在MacOSは、ノンサポートです。

【準備】 マニュアル P29より

- [1] PC KDC用アプリケーション、KTSyncをインストールする
パッケージ解凍後、Setup.exe を実行しインストール
(KTSync_Driver_Installer_V217.zip)

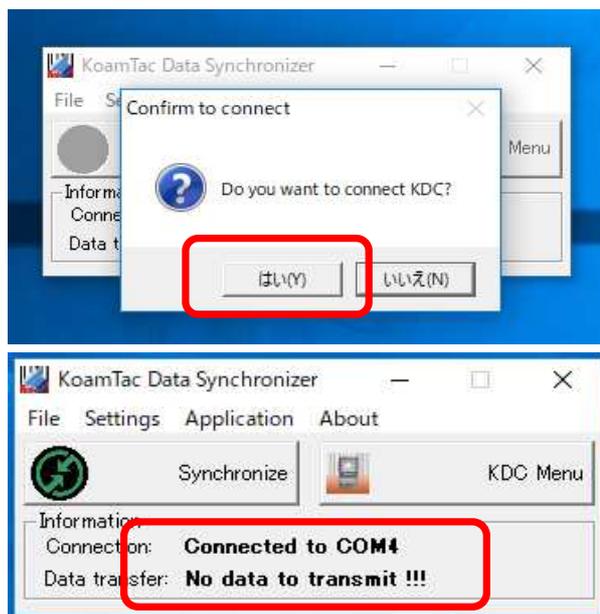


- [2] KDC300 PCのUSBポートに、KDC300を接続する。
※注意：必ずKTSyncを先にインストールし、その後にKDC300をPCに接続して下さい。
PCで正常に認識されると、WindowsのデバイスマネージャーでCOMポートが確認出来る。

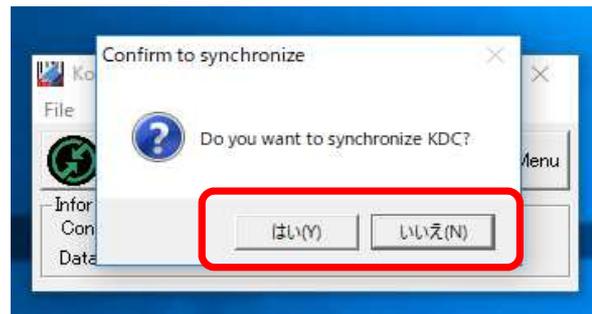


【データ転送設定】 マニュアル P88より

- [1] PC KTSyncを立ち上げKDC300と接続をする
※注意：KDC300は、必ず1台ずつ接続及び同期して下さい。
複数台同時に接続しますと、データが混在し壊れます。



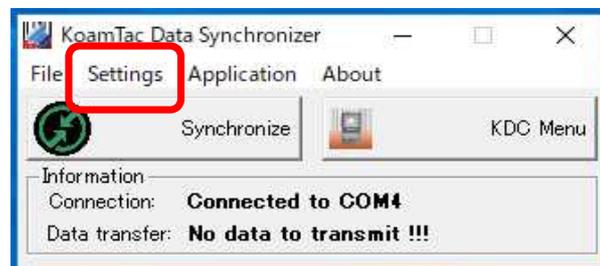
[2] PC 接続時に同期するかを指定する



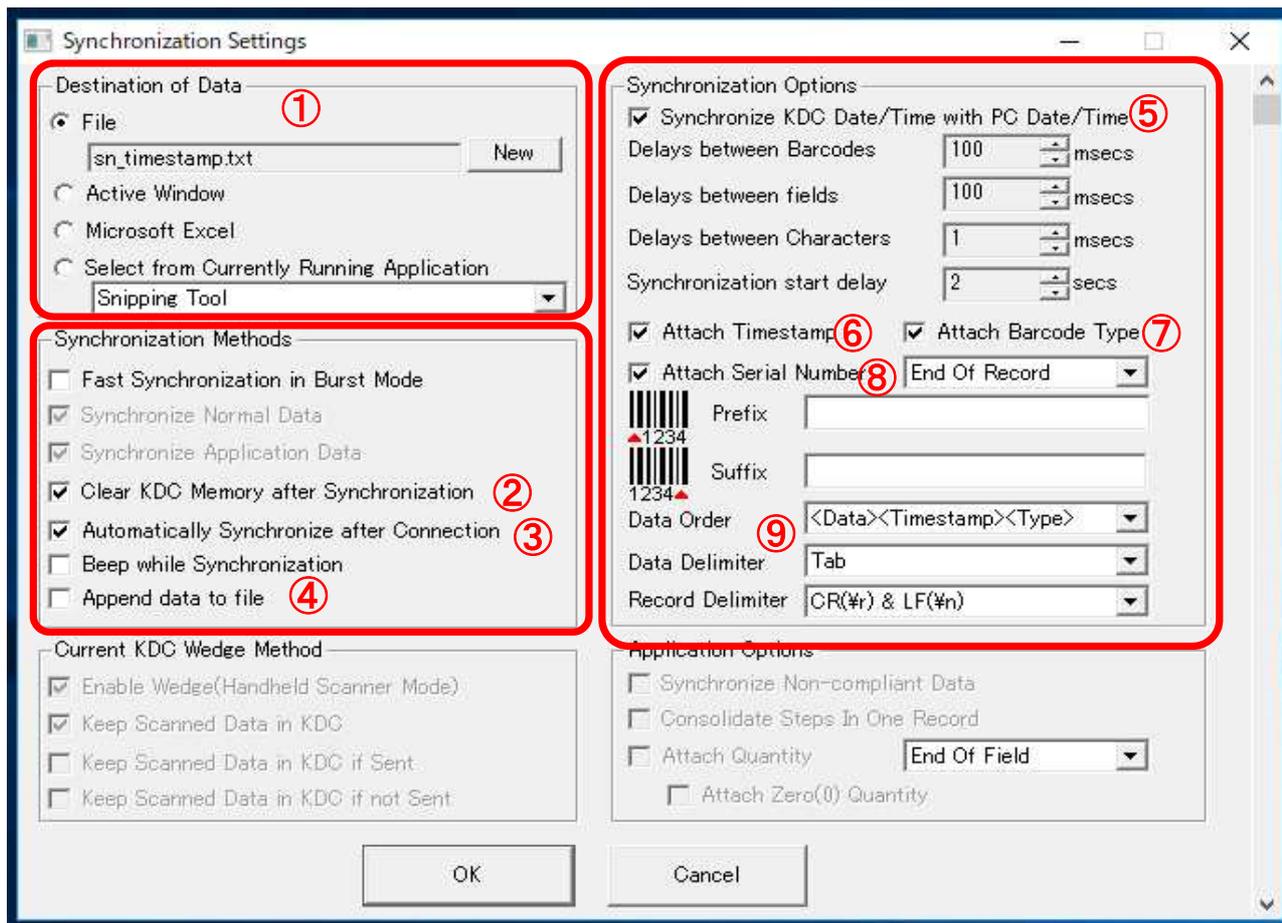
この例では、
[はい]を選択したが
初期状態(データ無し)のため
データ転送されなかった

[3] PC 各種同期のための設定をする

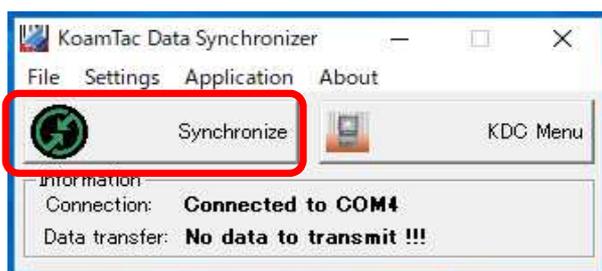
KTSyncの [Settings]-[Synchronization] を選択



KTSync [Synchronization]メニュー



- ① [Destination of Data] で、同期データの保存方法を設定
(指定ファイルへ出力、ActiveWindowへキーボードのように出力、Excelへ直接出力、指定した実行中アプリケーションへの出力)
ファイル出力の場合、デフォルトでは「C:\myData」の下に日時名のフォルダ、ファイルが出来る。
- ② [Synchronization Methods]中の [Clear KDC Memory after Synchronization]
PCとデータ同期後、KDC内のデータを自動消去する。
(これをチェックしていない場合は、KDC本体で[Reset Memory]で消去する。)
- ③ [Synchronization Methods]中の [Automatically Synchronize after Connection]
PCIに接続と同時にデータ同期する。
(これをチェックしていない場合は、その都度メインメニューの [Synchronize] をクリックしてデータ同期する。)
※USB接続をしたままでデータを読むと、本設定に関わらず随時転送される。



- ④ [Synchronization Methods]中の [Append data to File] をチェック
①の [Destination of Data]で指定したファイルにデータを追記していく。
(デフォルトでは、ファイル名がタイムスタンプのファイルが同期の都度出来る。)
- ⑤ [Synchronization Options]中の[Synchronize KDC Time with PC Time when Connected]
KDC300を接続した際に、PCの日付と同期する。
(これを設定しない場合は、KDC300本体の設定メニューから設定する。)
(電池切れや本体リセットを実施すると時計もリセットされるため、いずれが必要。)
- ⑥ [Synchronization Options]中の[Attach Timestamp]をチェック
バーコードデータとともに、タイムスタンプを出力する。
- ⑦ [Synchronization Options]中の[Attach Barcode Type]をチェック
バーコードデータとともに、バーコードの種別を出力する。
- ⑧ [Synchronization Options]中の[Attach Serial Number]をチェック
バーコードデータとともに、KDC300のシリアル番号を出力する。
シリアル番号出力場所を、データレコードの先頭または末尾から選択。
- ⑨ [Synchronization Options]中の下記項目によりデータ区切り等を設定
[Data Order] データの記録順の設定。(Data, TimeStamp, Type)
[Data Delimiter] データの区切り符号の設定。(TAB, Space, Comma, Semicolon)
[Record Delimiter] レコードの区切り設定。(None, CR, LF, TAB, CR&LF)

その他の設定詳細は、マニュアルをご参照ください。

【本体でのデータ消去方法】

前述のKTSync[Synchronization Methods]中の [Clear KDC Memory after Synchronization]を指定している場合、データ同期時にデータは自動的に消去されます。

KTSync(PC)からではなく、本体でデータを消去したい場合の手順は、下記の通りです。

[1] KDC300本体の上下ボタンを同時に押し、MENUモードに入る。

[2] [System Config] - [Reset Memory] - [Memory] を指定することにより、データ消去。

以上